

第3節 1日目：10月20日（土）：常陸大子～野上原

平成30年10月20日（土）、平成12年5月から始めたウォーキングが、あと22kmで1万キロ到達となる記念すべき日となる。偶然にも10、20、30の数値が登場し、覚えやすい綺麗な数値のため、「**何が何でも本日中午に達成したいものだ**」と意気込む。この日は嬉しいことに皇后さまの誕生日とのことであった。それ故、私にとっては、生涯忘れることができない一日となろう。予め達成できるものだと想定し、第71回わいわい会（高松一高同窓の歩き会：平成30年9月22日開催：根岸線）で頂いた団扇に”**1万キロ達成**”などを記して臨む。達成時に記念写真を撮る小道具にするためである。



常陸大子までの切符と水戸までの特急券

水戸駅（郡山行の水郡線）

しかしながら、歩く条件は厳しいものがあつた。この季節、17時位になると薄暗くなる。しかもこの路線の野上原駅界隈は山間から高台の野原に繋がる道筋でややこしい。本日のダイヤで一番早く到着できる時間は、常陸大子駅に10時37分。常陸大子から野上原駅までの営業キロは23.1kmである。すなわち、11時から17時までの6時間で実際には23.1kmの2割増し乃至は3割増し相当の歩く距離（28km～30km）を余儀なくされたからである。**産みの苦しみを骨身を感じる一日が予想された**。幸いにも天や神のご加護を得て、本日と明日は好天との予報であつた。



上野駅

以下の通り、常陸大子駅から野上原駅を踏破して行く。常陸大子（10時37分）～袋田（12時5分）～上小川（13時34分）～西金（14時24分）～下小川（15時36分）～中舟生（16時15分）～山方宿（16時48分）～野上原（17時30分）

予想通り、この路線一番難しかったのは、山方宿駅から野上原駅までの営業キロ2.7km。暗闇と複雑な道筋を地元の人のお世話と第六感で無事踏破でき感激もひとしおであった。また、西金駅から下小川駅への道筋も遠かった。ネットで地図を印刷して臨んだにも関わらず、くねくねした道筋を歩いてやっと辿り着いた。さらに、この駅から中舟生駅への道筋も急な山道をくねくね歩くことが余儀なくされる。一時は団扇に記した小道具が使えないのではと思うこともあった。



常陸大子駅

無人駅の野上原駅に17時30分無事到着して最高の気分となる。その瞬間をデジカメに収めたいと思うが、人の姿はなし。やむを得ず、冒頭にある写真を独力でオート撮影。平成30年5月7日（土）の”日本縦断”達成（稚内～鹿児島）”に引き続き、平成30年10月20日（土）は第二のメモリアルな日となった。「継続は力なり、有言実

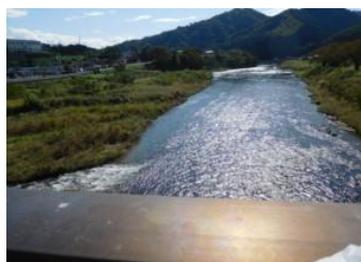
行、志を大きくもつ」などなど大切な人生へのキーワードが湯水の如く登場してくる……。1万キロ踏破の旗印に使用した団扇は、三国志に登場する諸葛亮孔明の軍配旗のような錯覚もした……。



常陸大子駅

詳細な駅舎立ち寄り状況は下記の通り。

4時頃起床し、中央林間5時57分の快速で新宿に向かい、新宿から山手線外回りで上野まで向かう。上野には7時11分到着。8番線ホームからのときわ51号(7時30分発;高萩行き)で水戸駅まで向かう。常磐線は十数年前踏破した路線なので懐かしさが込み上げて来た。途中、岩間～友部間で列車の異常音があったとのことで、羽鳥界限で20分位停車する。昨年、福岡空港に向かう際に豪雨の影響で30分位遅れたのを思い出した。今回も水戸駅で水郡線への乗り継ぎが33分あり、遅れは吸収できた。水戸駅から常陸大子駅までは4両編成、常陸大子から郡山までは1両編成とのアナウンスがあり。静から玉川村にかけ山間があった。



里大橋 (久慈川)

袋田病院美術館

袋田の瀧

今回の旅は、ネットで地図をコピーして臨む。常陸大子駅には10時37分到着。駅前で10分位滞在し、デジカメに収めた後、袋田駅に向かってスタートする。10時2分、FMだいが前を通過。11時7分、万歩計で163歩ある湯の里大橋(久慈川)を渡る。11時8分国道118号線に出る。11時15分、テレビか映画の撮影現場を通過する。11時

23分。北田気バス停（茨城交通）を通過。11時29分、右手には久慈川があった、その先で列車が通過する音が聞こえて来る。10時33分、常陸大宮と水戸への道路標識があった、11時38分、少し紅葉が始まった久慈川界隈の風景をデジカメに収める。11時33分、袋田病院美術館前を通過。近くに袋田ロードパークの案内板もあり。先日の福寿荘のパンフレットによると、下野宮から西金にかけて、奥久慈大子七福神巡りがあるとのことであった。

- 一番：東勝山長福寺（寿老人）：健康・長寿の神
- 二番：熊野山龍泰院（布袋尊）：福德・円満の神
- 三番：如意山実相院（福祿寿）：長寿・立身出世の神
- 四番：金剛山慈雲寺（大黒天）：五穀豊穰の神
- 五番：鳳林山高徳寺（恵比寿）：漁業・商売繁盛の神
- 六番：鷲栖山性徳寺（毘沙門天）：勇気・商売繁盛の神
- 七番：臥雲山永源寺（弁財天）：芸能の神

11時41分、久慈川の絶景をデジカメに収める。11時45分、袋田の滝看板前を通過。11時50分、国道から一般道に入る。11時56分、袋田の瀧の石像前を通過。その先に久慈川に跨るJR線の線路を捉える。12時5分、山小屋風の駅舎の袋田駅に到着する。



袋田駅

駅前のポスト受けの郵便物を回収に来た職員さんに、上小川駅への道筋を聞く。このまま道なりに沿って行けば行けるとのことであった。但し、随分遠いとのことであった。12時11分、おおしお踏切を横切り、鉄道の左側となる。12時14分、上着を脱ぐ。12時20分、国道118号に戻る。12時57分、205歩ある久慈川を渡る。13時3分、大子町下津原を通過。この会話にも“木の博物館”の標識があった。13時8分、山造バス停前を通過。13時16分、一般道に入る。13時24分。上小川上宿バス停前を通過。雨が降りそうな雲となるが、一時であった。13時30分、上小川キャンプ場前を通過。もう少しで通り過ぎそうになった上小川駅には13時34分到着。駅前でバスを待っている

乗客に駅への路を聞いて大成功であった。目の前に駅があるにも関わらず見過ごしたからだ。2年前の函館本線の石谷駅を思い出した。あの時も目の前にも関わらず、20分位右往左往したことを思い出した。



袋田



上小川上宿バス停



上小川駅

13時38分、前方に面白い山が見えて来る。13時43分、久慈川に跨る宮平橋を渡る。引き続き、明生橋(243歩)を渡る。13時46分、一番札所の長福寺の看板を見つける。左手に鉄道陸橋を見ながら歩く。13時53分、大子町頃藤を通過。近くに男体山登山口への案内板があった。14時3分、西金(さいがね)駅への交差点に到達する。この交差点にコンビニがあったので、菓子パンを購入し昼食の代わりとする。14時17分、1万キロまで少しとなり、その歓迎のために吠える犬をデジカメに収める。貨物列車が停車している西金駅には14時24分到着。この駅で種々のアングルから写真を撮影する。



長福寺



西金駅

14時30分、目の前に男体山がある。14時32分、121歩ある湯沢川と久慈川(西金大橋側道橋)を渡る。同時に鉄道を横切り、右側となる。14時36分、奥久慈しゃもと記した看板前を通過。14時44分、奥久慈りんご園前を通過。14時46分、常陸大宮市に入る。14時51分、“あゆの里 ようこそ常陸大宮へ”の看板がある。この境界でサイレンをならした救急車と消防車と対面する。15時8分、下小川駅への看板があり。



あゆの里



鮎釣り



下小川駅

幹線道路から一般道に切り替える。このから下小川駅への道のりが遠かった。何にも人に聞きながら進む。15時23分、114歩ある橋を渡る。橋の下ではアユ釣りをしている姿があった。15時29分、下小川停車状線踏切を越えて、鉄道の右側となる。ここからも遠かった。やっと15時36分、下小川駅に到着する。駅前には広い敷地であった。この駅は久慈川に沿ってあった。

ここから険しい山道となる。尾根を歩く不安な行程となる。歩いても歩いても山道が続く。やっと16時線路が頭上に見え安堵する。16時1分、線路を潜り鉄道の左側となる。16時2分国道118号線に戻る。16時15分、中舟生駅に到着。この駅はもう少しで通り過ぎそうになったが、第六感でフォローできる。16時22分、右手に水郡線の車両をゲットする。16時30分、193mある山方トンネル前を通過。16時33分、ふれあい通り看板前を通過。辺りはそろそろ薄暗くなりつつある。16時46分、函館本線のニセコ駅のような駅舎をもつ山方宿駅に到着する。



山道を歩く



やっと線路



中舟生駅



山方宿駅への案内



山方トンネル



山方宿駅

16時55分、再びふれあい通りの看板前に到達。少し行った先の床屋に立ち寄り、野上原駅への道筋を教えて頂く。辺りに小高い山が登場し、国道は山裾に続いていた。この国道では地図から判断し行けないと察知したからだ。聞いて大正解。少し行った先の坂道を登って行けば行けるとのことであった。17時11分、暗くなった坂道を登る。途中で道路が途切れる。ジョギングで5分位引き返す。T路地の交差点で運よく、女性のドライバーの方に巡り合わせたので、野上原駅への道筋を聞く。「この交差点を直進して行けば行けます。15分位はかかりますよ。お送りしましょうか」と親切にもご回答頂く。



ふれあい通り



日没後の山道

「私の歩きは鉄道つたい歩きなので結構です」とお応えする。このような親切の場面は、東武伊勢崎線、常磐線そして函館本線などでもあった。二度程、お言葉に甘えて車に乗せて頂いたことがある。一つは常磐線の十王駅から小木津駅に向かう際の道のり（電話で一高会の臨時会議の招集）。二つ目は伊勢崎線の雨宿り先の家から明神駅への道筋（大雨の回避）。

暗くなった道筋を暗中模索で進む。これまでの第六感で明るい方向に進む。運よく、17時24分、鉄道を跨がる道筋を通過する。500m位先に線路向こうに明かりが見えて来る。その明かりの先が1万キロ達成の野上原駅だろう。少し安堵する。17時30分、無人駅の野上原駅に到着する。辺りは誰もいないため、1万キロ達成の瞬間をオート撮影

する。次の水戸行きは18時18分であったので、この駅で感動・感激の瞬間を心ゆくまで堪能する。感動の瞬間を魚姫で発信する場面と続く。



野上原駅



第4節 2日目：10月21日（日）：野上原～水戸 晴れ

平成30年10月21日（日）、昨夜当面の目標の1万キロ達成を終え、本日から**1万キロ突破の旅**となる。これからの目標は、財力や健脚などなどから何処まで歩けるかもわからないが、天や神のご加護の下、先日カッシー館に投稿した12,345 kmを目指し頑張りたい。

その第一歩は、昨日の続きである水郡線の野上原駅から水戸駅までの営業キロ32.5 kmである。この時期17時位になると暗闇になるので30 km越えの歩きは難しいが、何とか郡山から水戸までの営業キロ142.4 kmを繋げたい一心から挑戦することにした。でも、昨日に比べれば、8時過ぎから18時過ぎまでの約10時間で32.5 kmを達成すればよく精神的には多少ゆとりを持つことができた。



ホテル

ホテルで朝食を摂り、昨夜二人の若者と楽しいひと時を送った”魚姫”をデジカメに収め、7時28分発の郡山行の列車で野上原駅(8時18分)まで移動する。本日の踏破した駅名と到着時間は次の通り。昨日と同様、全ての駅舎立ち寄りに成功する。

野上原(8時19分)～玉川村(9時38分)～常陸大宮(11時16分)～静(12時50分)～爪連(うりつら:13時15分)～常陸鴻巣(14時22分)～上菅谷(15時16分)～中菅谷(15時36分)～下菅谷(15時36分)～後台(ごだい:16時25分)～常陸津田(17時10分)～常陸青柳(17時41分)～水戸18時20分)



ホテル界限

魚姫界限と魚姫

本日歩きで印象に残ったのは、朝の野上原駅界限の道筋を見て暗闇では玉川村駅への踏破は無理であると痛感したことである。野上原で1万キロが到達(10,001.9km)できラッキーであった。もしあと24kmであれば玉川村駅への到達が余儀なくされるからである。ここでも天や神に感謝を感じた。玉川村駅は関東百選の駅舎に指定されているだけあり、いい風貌した駅舎であった。二つ目は、玉川村駅から常陸大宮駅へ向かう際、国道293号ではなく、地元の人のお世話になりながら道なき道を歩いて、一方ではウォーキングの醍醐味を楽しみながら踏破したことである。三つ目は、常陸津田駅界限で暗闇となったが、運よく明かりをも燃した列車が目に入り、その列車の動向に注視した。

運よく 300m 位先の駅舎に停車した。この駅が常陸津田駅であった。もし、この場面を捉えなかったなら、常陸津田駅は踏破できていないだろう。ここでも天や神のご加護を感じた



水戸駅

常陸青柳駅はラッキーにも鉄道の右側を直進した先にあり。暗闇の道筋でも対処できたものの、誰とも通行人に会わず不安な道中が続いたが。常陸青柳駅から水戸駅の間には最後の難所的那珂川があり、これを越えた先に水戸駅があった。18時20分到着し、水戸黄門様像の前で記念写真を撮って頂く。水戸黄門漫遊記で記念すべき日を迎えられ、これまでお世話になった各位に感謝また感謝で一杯となった。ささやかながら、ひたち26号の車両の中で祝杯をあげる。二日間の歩きで通算営業キロは10,034km(493日)となった。



野上原駅



詳細な駅舎立ち寄り状況は下記の通り。

5時頃起床し、朝食を6時45分頂き、7時頃チェックアウト。ホテル前で店長に記念写真を撮って頂く。ホテルは大通りを7南町一丁目から曲がった先にあった。7時10分。七五三の看板がある赤い鳥居を括って昨日祝杯をあげた魚姫(029-239-5520)をデジカメに収める。昨日お世話になった日立グループの格さん役の紺野敬之さんと助さん役の金子善範さんが登場しているような余韻がまだ残っていた。7時16分、黄門さん前で記念写真を撮って頂く。7時28分発の2両編成の列車で野上原駅に向かう。



野上原保育園



バス停にバスがやって来る

野上原駅には8時19分到着。水戸から野上原まで運賃は670円だった。駅前に数分立ち止り、朝の野上原駅の風景をデジカメに収める。風の冷たさを若干感じる。8時33分、くぬくねした路を進み、野上保育園前を通過。8時43分、やっと幹線道路に出る。8時52分、閉鎖となっている水戸グリーンCC前を通過。8時54分、照田という道路標識前を通過。9時2分、その先の交差点を左折し国道293号線を歩く。9時18分、茨城交通のバス停にさしかかった先でバスがやって来る。9時34分、富士フィルムオブデイクス(株)東野寮前を通過。9時35分、関東の駅百選とある玉川村駅の看板を見つける。ここから少し左折し歩いた先に玉川村駅(9時38分)があった。百選のあるだけに風貌を感じた。



玉川村駅



9時50分、玉川十文字バス停前を通過。9時53分、第一烏山街道踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。9時57分、昔風の稲の収穫風景を通過し、小学校時代のよき時代が込み上げて来る。右手に鉄道が続く。10時10分、第二八田踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。がたがた路を暫く歩く。10時23分、行き止まりとなるが、田圃道を経由して路地に出る。やっと10時30分、幹線道路に出る。



子供の頃の収穫期風景

道なき道

10時35分、左手にJR線を見つける。地元の散歩姿の年配が私を追い越して行く。暫くこの人の後を追従する。10時57分、○ヶ谷バス停前を通過。辺りをみると雲一つない秋晴れであった。常陸大宮駅への道筋を地元人に聞く。テレビタワーの近くの駅があるとの情報を頂く。11時12分、常陸大宮駅に続く線路沿いに出る。陸橋を渡った先に常陸大宮駅（11時16分）があった。



常陸大宮駅

ここから静駅への路遠し。11時35分、大塚バス停前を通過。12時26分、433歩ある下大賀高架橋を通過。12時32分、下大賀交差点を通過。その先でJR線が下にあった。幹線道路を下りて一般道に出る。300m位戻った先に静駅（12時50分）があった。先程来た道筋を鉄道に沿って歩く。13時3分、学校前踏切を横切り。鉄道の左側を歩く。13時15分、瓜連（うりつら）駅に到着する。この駅は駅員がいた。駅舎が見えないので、駅員に聞く。「反対側にある」とのこと、駅の階段を上がって、鉄道の右側となる。13時25分、瓜連町踏切を渡るが、道筋がないと判断し引き返す。13時56分。

那珂市鹿島を通過。14時6分。芳野木戸バス停前を通過。県道31号線を歩く。14時13分、ため池前を通過。このため池には蓮があった。14時18分、目の前にあるのにも関わらず、さも遠いような誤解を招くような道筋を教えてください。14時22分、常陸鴻巣駅に到着する。



下大賀橋



静駅



柿が一杯



瓜連駅



蓮の池



常陸鴻巣駅

14時28分、酒蔵の蕎麦前を通過。14時31分、叶屋商店バス停前を通過。14時31分、県道31号線的那珂市鴻巣という道路標識前を通過。15時4分、ため池前を通過。それにしても水郡線は故郷香川までではないが、埼玉県境界を走る東武東上線と同様、ため池が結構多いという感があった。15時4分、菅谷西小学校前を通過し、上菅谷駅が近いことを察知する。十字路があり、直進するか左折するか迷う箇所があったので、通りかけた人にお伺いする。「左折でも行けますが、陸橋越えが必要となります。直進は踏切を渡り少し遠回りになりますが、分かりやすい。直進をお勧めします」との回

答を得る。この回答を得て直進する。15時6分、一の関バス停前を通過。15時12分、ご指示頂いた大宮街道踏切を横切り、鉄道を左手にして200m位戻った先に上菅谷駅(15時16分)があった。



菅谷西小学校 上菅谷駅

鉄道を右手に歩くと、15時28分図書館入口駅があった。15時34分、第一福田踏切があり、この踏切を横切った先に駅舎を持たない中菅谷駅があった。この駅は上菅谷駅と下菅谷駅の間に最近できた駅であろうと。15時55分、太田街道踏切を横切り鉄道の右側となる。15時56分、下菅谷駅に到着する。



図書館入口 中菅谷駅



下菅谷駅

16時3分、ため池をデジカメに収める。16時9分、鹿嶋神社、三嶋神社前を通過。16時25分、駅舎を持たない後台(ごだい)駅に到着する。田園地帯を歩く。16時59分、そろそろ常陸津田駅だと思い辺りを見回す。運よく郡山方面に向かう列車を300m

位先に捉える。暫く観察すると停車する。恐らく駅が常陸津田駅だと察知する。幹線道路を下りてくねくねした道筋を進み線路に近づく。17時7分、うす暗くなった環境で常陸津田駅に到着。運よく、年配の方が駅舎に居られ。常陸青柳駅への道筋をお伺いする。「線路を右手にして歩いた先に常陸青柳駅があるよ」と教えて頂く。



鹿島神社・三嶋神社

後台駅



遠くに列車を発見

常陸津田駅

17時16分、日没前の瞬間をデジカメに収める。暗くなった道筋を暗中模索で歩く。確認のため聞こうと思う通行人には誰一人会わず。運よく前方に明かりが見えて来る。17時41分、常陸青柳駅に到着する。



日没の瞬間

常陸青柳駅

高校生か大学生の若い女性が10名位いた。まもなく、常陸大子方面の電車がやって来る。17時58分、687歩ある水府橋（那珂川）を渡る。18時20分、水郡線の終着駅水戸駅に到着する、黄門様前で水郡線踏破ということでまた1万キロ突破ということで記念写真を撮って頂く。18年半の苦労が一気に報われたような瞬間であった。同時に有言実行と継続は力なりを強く感じた瞬間であった。



水戸駅



ひたち 26号（水戸～上野までノンストップ）で祝杯